

令和3年度 天理幼稚園 学校評価 <教職員用>

令和3年度 天理幼稚園運営計画				A：よくできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：ほとんどできてない		
	重 点 目 標	評 価 項 目		評価	成果と課題	
教育目標・ 教育計画	幼稚園の教育方針、教育目標を明らかにし、望ましい幼児の姿を明確にする	1	教育目標及び重点目標を全教職員が理解している	A	○毎月の学年会議で月や週の指導計画を振り返り、評価・反省・課題・改善点について出し合い、翌月の指導計画に生かせるように努めた。各学年であがった課題などを職員会議で協議し、全体で共通理解できるようにした。週案の振り返りを担任にフィードバックできる機会をもてるよう方法を検討する。 ○新型コロナウイルスの影響で実施できない行事や活動があったが昨年の反省を踏まえ、感染状況に応じて実施できる内容の工夫に努めた。今後も感染状況を鑑みながらも子どもの発達に必要な行事や活動を積み重ねられるよう柔軟に対応していく。	
		2	教育課程は教育要領を踏まえ、園長を中心とし教職員と協力し合って編成している	A		
		3	年間の指導計画について各学年及び園としてよく話し合いをし、実施している	A		
		4	教育目標の実現を目指し、信条教育の指導方針を設定している	A		
		5	幼児の実態に合わせた教育内容を精選している	A		
		6	今年度の重点目標を理解し、達成できるよう努力している	A		
教育内容	全て親神様のお恵みの中で生かされていることを知り感謝の気持ちをもつ	7	私達の身体は親神様からお借りしていることを知り、元気であることを喜び、感謝する心を育てている	A	○新型コロナウイルス感染症が流行する中で毎日元気に登園できる喜びを伝えるなど教師一人ひとりが親神様のご守護のありがたさを感じられるような話をしてきた。また、欠席した友達や怪我をした友だちの回復を願い遙拝時にお願ひするよう声を掛け、体調を崩した子におさづけを取次ぎ、子どもたちには添い願ひするよう声を掛けてきた。 ○年長児が車いす体験や目隠し歩行体験を実施し、体の不自由な方の立場になって考える機会を設けた。年中児は『徳つみカード』を用意して、ひのきしんについて改めて意味合いを伝えたり、一緒に考えたりする機会をもつと進んでトイレのスリッパを揃えたり、ゴミを拾ったりする姿が見られるようになった。 ○生き物の世話を通して子ども自身が気付いたことを大切に受け止めるとともに、命の大切さに気づけるような話をしたり共に考える機会をもったりしてきたことによって各クラスで飼育している虫や小動物を大切にしようとする姿が見られるようになった。 ○様々な材料に触れる機会に、その材料の使い方を繰り返し伝え、物を大切にしようという気持ちがもてるようにしてきた。これからも全てのものは親神様のお働きによってお借りしているものであることを伝え、引き続き大切に使えるよう丁寧に伝えたり話し合う機会を設けたりしていきたい。	
		8	一手一つに助け合う心を育てている	A		
		9	自然や物を大切にすることを育てている	B		
	主体的に環境に関わり、一人ひとりが自己発揮し、友達と力を合わせて園生活を楽しむ	10	体を動かす楽しさを味わえるような遊びを計画し、その環境を構成している	A	○幼児期の運動遊びが脳や心身の発達に重要であることを踏まえ、各学年で発達に応じた運動遊びができるよう取り組んできた。子どもの関心に合わせて遊びの目安となるカードや表示を作成し、自分なりの目標をもって挑戦できるように援助してきた。 ○ピクトグラム作成や昆虫館作りなど共通の経験を生かし、協同して取り組める活動を取り上げた。 ○子どもたちの考えや思いを出し合う機会を大切にして、それぞれの発達に応じて自分で決めて行動する充実感が味わえるようにしてきた。今後も、子どもたちが主体的に生活できるよう必要な援助を考えていきたい。 ○人の話を聞き言葉による伝えあいができるようそれぞれの学年の状況に合わせ、話し合いの場所や人数など関心をもてるような環境作りの工夫をしてきた。今後も引き続き言葉による伝え合いができるよう援助を心掛けたい。	
		11	共通の目的に向かって友達と協力して遊びを進めていけるよう援助している	A		
		12	幼児がさまざまな表現を楽しみ、表現する意欲を十分発揮させることができるよう環境を整えている	A		
		13	人の話を聞き言葉による伝え合いができるよう援助する	B		
	研究・研修	園内研修を計画的に実施すると共に園外研修に積極的に参加し、教職員の資質を高める	14	外部講師による講義や公開保育の実施など計画的な園内研修を行い教師の資質向上に努めている	A	○新型コロナウイルスの影響で各種研修会に出かけることが難しいため、オンラインによる研修会に積極的に参加したり、健康管理室教育心理相談室臨床心理士による自主研修を実施したりした。また、奈良県障害者総合支援センターより作業療法士の方を講師に招き、支援を要する子どもについて援助の仕方や環境の工夫について前期と後期にわたって研修した。今後も限られた時間や状況の中で工夫した研修を行い教師の質の向上に努めたい。
			15	幼児期の発達や学びの特質を踏まえた記録の在り方について研究している	B	
	特別支援教育	配慮を必要とする子の実態を理解し、その子に応じた指導、援助を行う	16	配慮を要する幼児の課題と支援方法について保護者、専門機関、小学校と連携を深め支援にあたっている	A	○健康管理室巡回相談を受け心理士の先生から専門的な見解やアドバイスを受け、指導に役立てることができた。また、しんどさを抱える幼児のケース会議を開き、子ども理解に努め、意見を出し合ったことによって支援の方法について見通しをもつことができた。また、各専門機関へ同行したり、来園して頂いたりしてよりよい支援の方法を考えることができた。今後も保護者の思いに寄り添いながらも必要な支援をつなげていけるよう努めていきたい。
	組 織	組織の中の一人としての自覚を持つと共に教職員間の協力体制を築く	17	担任が抱える問題を組織的に取り組む体制を整えている	B	○日ごろから子どもたちの姿を伝えあい、学年会議や職員会議で一人ひとりの子どもの姿を共通理解できるようにしてきた。今後も教師間のコミュニケーションを大切にし、同僚性を高めていきたい。また、支援を要する子どもについては、指導方法や配慮などについて、担任だけが悩みや問題を抱え込まないよう園全体として取り組み、支援体制を更に整えていきたい。
			18	各分掌、各学年の連携を十分にしている	A	
			19	全園児について共通理解をもち、発達に応じたきめ細かい指導、援助をしている	A	
保護者との 連携	保護者との連携を大切にし、信頼関係を築く	20	教育方針、目標、計画などを保護者に明示している	A	○新型コロナウイルス感染対策を行ったうえで運動会や参観日を分散で実施し、子どもの姿や園での様子を保護者の方に見ていただけた。 ○ホームページをリニューアルし、パスワードをかけ関係者のみが閲覧できるようになったことで、写真を多く掲載でき、園での遊びの様子をより分かりやすく発信することができるようになった。 ○来年度新入園児の子育て相談を実施し、入園にあたって保護者の方の不安や心配を伺うとともに子どもの様子を知ることができた。	
		21	園の教育活動や園全般の情報を保護者へ提供している	A		
		22	子育ての悩みや相談を受けられるような場や時間を確保している	A		
		23	保護者からの要望や苦情に適切に対応している	B		
安全管理・ 保健	幼児の安全や保健・衛生管理について、体制やシステムを周知徹底する	24	安全・健康な生活に必要な習慣や態度の育成をしている	A	○昨年度の新型コロナウイルス感染対策に加え、健康観察カードに行動履歴を追加した。変異株流行時には、手洗いの大切さを再度認識できるような動画を作成し、視聴する機会を設けた。更に間隔をあげ黙食の徹底を行った。また、パーティションを新たに購入し、安全に食事や制作遊びができるようにした。感染者報告時のマニュアルを作成したり、発熱や近親者が濃厚接触者にあたる場合には、保育室やバスの中などで濃厚接触が考えられる幼児を洗い出したりして、感染者判明時の初期対応がスムーズに行えるようにした。また、園の携帯電話番号を知らせ、休日でも対応できるようにした。	
		25	衛生指導の徹底と保護者に保健や衛生の情報を提供している	A		
		26	安全教育・防災に関する年間計画、危機管理マニュアルの共通理解を図っている	A		
施設・設備	施設・設備の環境整備、整理整頓を行う	27	園舎、園庭、保育室の環境整備、整理整頓している	B	○園舎、園庭、保育室の設備について日常的に安全点検をすると共に、安全チェックリストに沿って点検を行っている。今年度は、園舎の腰板・ロッカー・積み木のささくれを削る、園庭ミニハウスの修繕、なかよしルームロッカーの修繕、プール遊びの際の水質検査、スズメバチの巣除去などを行った。施設、設備の老朽化が進み、修理修繕が必要な個所があり、対応に苦慮するが、長期休み前に安全チェックリストに沿った点検を行い、気付いた不備について長期休みにて修繕するよう努めたい。	
		28	施設、設備について日常的に安全点検をしている	B		
		29	省エネルギーへの配慮を心がけている	A		
		30	備品や教材、用具、材料を適切に活用している	A		